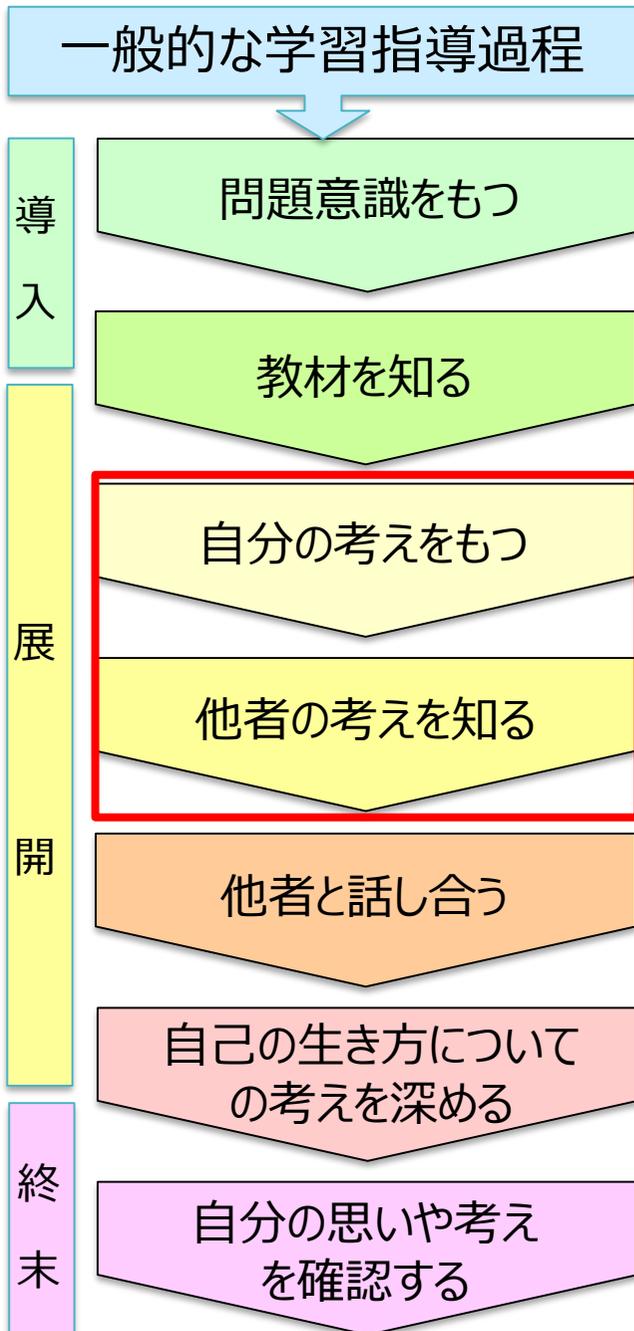


小学校・第3学年・道徳科・主題名「正しいことは自信をもって」

内容項目：A 善悪の判断、自律、自由と責任①



授業のねらい

正しいと判断したことは、自信をもって行おうとする心情を育てる。

活動のねらい

自分の考えを示すとともに、友達の考えを知り、比較して話し合いながら、自分の考えをより確かなものにする。

ICT活用のポイント

自分の考えを I C T 端末の座標軸に書き込み、共有することによって他者の考えを視覚的に知ることができ、これらを基に話し合うことができる。

事例の概要

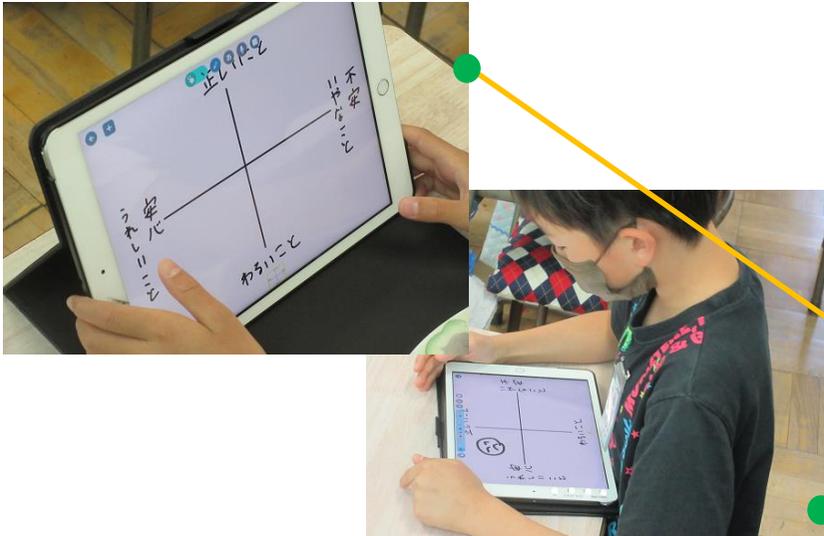
本授業では、善悪の判断とともにその時の気持ちを合わせて考えられるようにするために座標軸を活用している。自分の気持ちや考えを I C T 端末で示し、友達の考えを知って話し合うことで、道徳的価値を実現したり、実現できなかったりする場合の感じ方、考え方は一つではない、多様であることが理解できる。

小学校・第3学年・道徳科・主題名「正しいことは自信をもって」

内容項目：A 善悪の判断、自律、自由と責任②

～プレゼンテーションソフトと学習支援ソフトのファイル共有機能を活用して、考えを表現・共有～

【デジタルスライドの座標軸に
自分の気持ちや考えを位置で示す】



【共有された他者の気持ちや考えを知る】



【学習の目的】

道徳科の学習では、何がよいことで何がいけないことなのかを、様々な内容項目を手掛かりとしながら考え、道徳的価値を理解することなどを通して道徳性を養うことを目標としている。しかし、道徳的価値を知的に理解するだけでなく、その時の自分の受け止め方も合わせて考えていき、その感じ方や考え方は一つではなく、多様であることも理解する必要がある。これらの理解のことを「価値理解」「人間理解」「他者理解」と言い、道徳的価値の理解に必要なものである。

【ICT活用のメリットを生み出すための工夫】

- ・教師が事前に作成したデジタルスライドの座標軸に言葉を入れて児童のICT端末に送り、一人一人の児童は、座標軸上の自分の考えにあてはまる場所に好きなマークを書き加える。その後、一人一人の児童はマークを入れたデジタルスライドを学習支援ソフトのファイル共有機能を使って共有することにより、それぞれの考えを知ることができる。

【ICT活用のメリット】

- ・黒板に表示された一つの座標軸に児童がネームプレートを貼っていく場合と比べると、時間が短縮され、ネームプレートを先に貼った児童の考えに影響されにくく、一人一人が自分の考えを表現できる。
- ・共有された友達の考えを視覚的に捉えることができ、自分の考えと同じ友達や違う友達を見つけることが容易にできる。

○ 活用したソフトや機能：プレゼンテーションソフト、学習支援ソフトのファイル共有機能